

# NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成20年12月18日  
TB08-271

## 連結子会社の解散および清算に関するお知らせ

タカラバイオ株式会社(社長:加藤 郁之進)は連結子会社である株式会社タカラバイオがん免疫療法(以下、「TBCI社」という)を解散することを決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 解散および清算の理由

TBCI社は、当社と水町重範医師(水町クリニック総院長)との合弁事業として平成15年7月に設立(設立時の社名はミズマチ・タカラバイオ株式会社。平成19年に当社の100%子会社とした際に現商号に変更。)され、がん細胞免疫療法に関する技術支援サービス事業を行ってまいりましたが、平成20年5月をもって、水町クリニックグループへの技術支援サービスを終了し、休眠状態となっていたことから、このたび同社を解散することを決定いたしました。

なお、がん細胞免疫療法に関する技術支援サービス事業につきましては、今後は当社が主体となって行う方向で考えており、平成20年9月より、京都市内のクリニックにおいて当該技術支援サービス事業を引き続き推進しております。

### 2. TBCI社の概要

本店所在地 : 滋賀県大津市瀬田三丁目4番1号  
代表者 : 加藤郁之進(当社 代表取締役社長)  
設立年月日 : 平成15年7月9日  
資本金 : 5,000万円  
株主 : 当社100%  
最近の業績 :

(単位:百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	62	32	34
経常利益	5	△14	△49
当期純利益	△7	△14	△64

3. 解散に伴う損失額 約3千万円

4. 解散の日程

平成 20 年 12 月 18 日 解散決議  
平成 21 年 4 月末(予定) 清算終結

5. 今後の見通し

TBCI 社の業績が低調に推移していたこと等から、連結・単体とも平成 20 年 3 月期決算において、将来発生が見込まれる損失に対する引当金を計上しておりましたが、解散決定による損失見込額は引当金の範囲内におさまる見込ですので、平成 21 年 3 月期の連結および個別業績予想に対する影響は軽微であります。

また、当期以降の業績に対する影響も軽微であります。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

---

この資料は、12月18日に京都経済記者クラブに配布しています。

この件に関するお問い合わせ先  
タカラバイオ株式会社  
バイオインダストリー部  
Tel 077-543-7235